



セカンドオピニオン外来相談対象専門領域・担当一覧表

対応科 相談を受けられる疾患・領域	担当医師	対象疾患など
----------------------	------	--------

総合診療部

総合診療部	総合診療部	窪田満(総合診療部統括部長) 中館尚也(総合診療科診療部長)	身体的なものから精神心理的なものまで、複数の診療科にまたがる病態について、総合的な視点から対応します。
		窪田満(総合診療部統括部長)	先天代謝異常症・肝疾患に関して、御希望があれば受け付けます。
	小児、思春期心身症外来(起立性調節障害、慢性頭痛など)	永井 章(総合診療科診療部長)	思春期で多いとされる、起立性調節障害や慢性頭痛を中心とした疾患に関して、心身医学的の見地から疾患の診断、治療に関してご相談をお受けいたしています。
	川崎病	中尾 寛(総合診療科医長) 益田 博司(総合診療科医師)	急性期川崎病:他院入院中で川崎病診断、治療の相談をお受けいたします。 慢性期川崎病:冠動脈瘤の経過、フォロー方法の相談をお受けいたします。
	在宅ケアNICU、PICUからの移行(特に医療機器、技術に依存する場合)	中村知夫(在宅診療科診療部長)	胃ろうや気管切開など医療機器、技術に依存する在宅ケア、NICU、PICU入院中のお子様などに関して、総合的な視点から対応します。
	緩和ケア	余谷暢之(緩和ケア科診療部長)	対象 がん・非がん問わず、「生命の危機に直面する疾患をもつ患者と家族」 ・からだやこころのつらさの対応についての相談(痛み、息切れ、不安など) ・治療における方針決定の支援 ・これからの生活、療養についての相談

器官病態系内科部

消化器科	小児炎症性腸疾患	新井勝大(消化器科診療部長、小児炎症性腸疾患センターセンター長)	小児期に発症したクローン病、潰瘍性大腸炎をはじめとする炎症性腸疾患の診断と治療について幅広く対応いたします。
	小児消化器病	新井勝大(消化器科診療部長)	難治性下痢症や便秘症といった消化管の病気を対象とします。乳幼児期を含む小児の内視鏡検査についてもご相談ください。
循環器科	胎児から青年期に至る心臓病全般	小野博(循環器科診療部長)	先天性の心臓病、後天性の心臓病、マルファン症候群など全身疾患に合併する心疾患、肺高血圧症、心筋症、不整脈などについて対応いたします。
	重症心不全	進藤考洋(循環器科医師)	心臓移植に至る重症心不全について対応いたします。
呼吸器科	小児呼吸器疾患	肥沼悟郎(呼吸器科診療部長)	小児科領域の呼吸器疾患について広く対象とします。
神経内科	小児神経疾患	阿部裕一(神経内科診療部長)	小児神経疾患全般について対応いたします。
腎臓・リウマチ・膠原病科	小児腎疾患	亀井宏一(腎臓・リウマチ・膠原病科診療部長)	腎疾患(ネフローゼ症候群、慢性腎炎、腹膜透析療法、腎移植、その他腎疾患全般)を対応します。
	小児リウマチ性疾患 小児膠原病	小椋雅夫(腎臓・リウマチ・膠原病科診療部長)	リウマチ・膠原病疾患(若年性特発性関節炎、全身性エリテマトーデス、若年性皮膚筋炎、原因不明の発熱、その他リウマチ・膠原病科疾患全般)を対応します。

生体防御系内科部

免疫科	免疫異常	小野寺雅史(免疫科診療部長)	免疫不全症及び免疫調節不全などの免疫に関する疾患の診断から治療等を対象にしています。特に、最新の治療法である遺伝子治療についてもご説明いたします。
	炎症性疾患	河合利尚(免疫科診療部長)	小児期にみられる周期性発熱、自己炎症性疾患、PFAPA症候群など、繰り返す発熱や原因不明の発熱についてご相談ください。
内分泌代謝科	内分泌疾患、糖尿病、代謝異常症	堀川玲子(内分泌・代謝科診療部長)	成長障害(ホルモン異常の他、染色体異常、骨系統疾患等も含む)、性分化疾患、性成熟異常症、下垂体疾患、副腎・甲状腺・副甲状腺疾患、小児糖尿病、糖・脂質代謝異常症など、小児内分泌疾患全般についてのご相談をお受けします。

感染症科	感染症科	宮入烈(感染症科診療部長)	こどもの感染症全般に関わるセカンドオピニオンに対応いたします。サイトメガロウイルスやヘルペスなどの先天性感染症、診断や治療に難渋している感染症、予防接種に関する問い合わせなど、幅広い疾患が対象となります。
遺伝診療科	遺伝性疾患 染色体異常	小崎里華(遺伝診療科診療部長)	さまざまな先天異常・稀少疾患(遺伝性疾患、染色体異常、多発奇形症候群、骨系統疾患)や診断不明の方を対象にしています。また、遺伝性疾患等の次世代への影響などについての遺伝相談も受け付けます。
ライソゾーム病センター	先天代謝異常症、特に、ライソゾーム病、ペルオキシゾーム病	奥山虎之(臨床検査部統括部長) 小須賀基通(遺伝診療科診療部長)	ゴーシェ病、ファブリー病、ポンペ病、ムコ多糖症などのライソゾーム病や副腎白質ジストロフィーなどのペルオキシゾーム病は、早期診断・治療により患者さんの将来が劇的に変化します。専門医として適切なアドバイスが可能です。

アレルギーセンター

総合アレルギー科、皮膚アレルギー科、消化管アレルギー科	アレルギー疾患	大矢幸弘(アレルギーセンター長 統合アレルギー科診療部長)	特にアトピー性皮膚炎や食物アレルギーの治療に難渋している方、薬で気管支喘息のコントロールができない方、など現在の治療では病気を克服できず困っている方のご相談に応じます。
	消化管アレルギー	野村伊知郎(消化管アレルギー科 医師(併任)・好酸球性消化管疾患 研究室長)	年齢は新生児から思春期まで、嘔吐、血便、下痢、体重増加不良などがあり、消化管の食物アレルギーが疑われる方を対象にしています。 好酸球性消化管疾患、好酸球性食道炎、好酸球性胃腸炎の患者さまで成人以降の方であっても、治療に難渋しておられる場合は、受付可能です。 当院では、好酸球性胃腸炎の先進的食餌治療を行っております。

小児がんセンター

小児がんセンター	小児がん(血液腫瘍:白血球やリンパ腫など)	松本公一(小児がんセンター長) 富澤大輔(血液腫瘍科診療部長)	白血病、リンパ腫など血液腫瘍を対象にしています。ご希望により放射線診断科、放射線治療科、病理診断科による対応が可能です。
	小児がん(造血幹細胞移植)	松本公一(小児がんセンター長) 富澤大輔(小児がん血液腫瘍科診療部長)	小児がん、非悪性血液疾患、原発性免疫不全症などの治療として行われる造血細胞移植(骨髄移植、さい帯血移植、末梢血幹細胞移植)および、CAR-T療法等の遺伝子細胞治療に関して対応します。ご希望により放射線治療科による対応も可能です。
	小児がん(ランゲルハンス細胞組織球症)	塩田曜子(小児がん血液腫瘍科 医師)	ランゲルハンス細胞組織球症を対象にしています。ご希望により放射線診断科、放射線治療科、病理診断科による対応が可能です。
	小児がん(脳脊髄腫瘍: 内科治療)	寺島慶太(小児がん脳神経腫瘍科 診療部長)	小児脳脊髄腫瘍{各種脳腫瘍(髄芽腫、頭蓋咽頭腫、胚細胞腫、上衣腫、星細胞腫等)および脊髄腫瘍}を対象にしています。
		荻原英樹(脳神経外科診療部長)	ご希望により内科系診療科による対応、あるいは、外科系を合わせた複数診療科による対応が可能です。また、ご希望により放射線診断科、放射線治療科、病理診断科による対応も可能です。
	小児がん(脳脊髄腫瘍: 外科治療)	荻原英樹(脳神経外科診療部長)	小児脳脊髄腫瘍{各種脳腫瘍(髄芽腫、頭蓋咽頭腫、胚細胞腫、上衣腫、星細胞腫等)および脊髄腫瘍}を対象にしています。
		寺島慶太(小児がん脳神経腫瘍科 診療部長)	ご希望により外科系診療科による対応、あるいは、内科系を合わせた複数診療科による対応が可能です。また、ご希望により放射線診断科、放射線治療科、病理診断科による対応も可能です。
	小児がん(固形腫瘍)	松本公一(小児がんセンター長)	神経芽腫、横紋筋肉腫、胚細胞腫瘍、肝腫瘍、腎腫瘍など固形腫瘍を対象にしています。
		米田光宏(外科診療部長)	内科系、外科系診療科のいずれか、あるいは両診療科による対応が可能です。また、ご希望により放射線診断科、放射線治療科、病理診断科による対応も可能です。
	小児がん(網膜芽腫)	松本公一(小児がんセンター長)	網膜芽腫を対象にしています。
清谷知賀子(小児がん血液腫瘍科 医師)		内科系、眼科のいずれか、あるいは両診療科による対応が可能です。また、ご希望により放射線診断科、放射線治療科、病理診断科による対応も可能です。 必要に応じて、医師の判断により眼科医が対応することも可能です。	

	骨髄不全・免疫不全(造血幹細胞移植)	内山徹(成育遺伝研究部疾患遺伝子構造研究室長 免疫科医師)	骨髄不全症(再生不良性貧血など)や免疫不全症(慢性肉芽腫症やWiskott-Aldrich症候群、重症複合型免疫不全症など)に対する同種造血幹細胞移植について対応が可能です。
	血液内科	石黒精(血液内科診療部長)	血液疾患全般(小児がんを除く)を対象にしています。具体的には、血小板減少症や血友病などの出血性疾患、血栓性疾患、好中球減少症、貧血などです。
		中館尚也(総合診療科診療部長)	(小児がんを除く)血液疾患一般を対象とし、血小板減少症や凝固異常などの出血性疾患、貧血、血球貪食症候群などです。
	小児がん(放射線治療)	藤浩(放射線治療科診療部長)	小児がんの治療において、放射線治療を正確に理解することはとても重要です。放射線治療科では小児がんに対する放射線治療の適応、方法、効果、副作用に関する相談を受け付けています。
	小児がん(緩和ケア)	余谷暢之(がん緩和ケア科診療部長)	治療が困難な疾患をもつ患者と家族 ・からだやこころのつらさの対応についての相談(痛み、息切れ、不安、イライラなど) ・治療における方針決定の支援 ・これからの生活、療養についての相談

臓器・運動器病態外科部

外科	小児外科疾患	藤野明浩(外科診療部長) 米田光宏(外科診療部長)	小児の一般外科に関するご質問にお答えいたします。小児外科疾患の手術や治療方針について相談を受け付けます。その場での回答が困難な場合には院内カンファランスを開催し、後日結果をお伝えする場合がございます。小児外科疾患の手術や治療方針について相談を受け付けます。
	リンパ管・血管疾患	藤野明浩(外科診療部長)	リンパ管腫(リンパ管奇形)、リンパ管腫症、ゴーハム病、先天性リンパ浮腫、腸間膜嚢腫、後腹膜嚢腫、難治性乳び胸、乳び腹水等のリンパ管疾患や血管腫、静脈奇形、クリッペル・トレノネー症候群、その他の血管疾患につきご相談に応じます。
	重症・難治性小児外科疾患	藤野明浩(外科診療部長)	治療困難となった食道閉鎖、鎖肛、総排泄腔症、腸閉塞、腸瘻、肺・呼吸器疾患、胆道拡張症、遺伝性膵炎、慢性膵炎、リンパ管腫、頸部瘻孔、その他の小児外科疾患につきご相談に応じます。
脳神経外科	もやもや病	荻原英樹(脳神経外科診療部長)	もやもや病の外科治療につきご相談を受け付けます。
	小児脳腫瘍	荻原英樹(脳神経外科診療部長)	小児脳腫瘍の外科治療を中心とした診療につき、ご相談をお受けいたします。
	頭蓋頸椎移行部疾患(キアリ奇形・軟骨無形成症)	荻原英樹(脳神経外科診療部長)	頭蓋頸椎移行部疾患(キアリ奇形・軟骨無形成症)の外科治療についてご相談をお受けいたします。
	頭蓋縫合早期癒合症	荻原英樹(脳神経外科診療部長)	頭蓋縫合早期癒合症の外科治療についてご相談をお受けいたします。
心臓血管外科	小児心疾患の治療について—手術を中心に—	金子幸裕(心臓血管外科診療部長)	先天性心疾患の手術を含む治療法について説明をいたします。必要に応じて、循環器科医の説明も受ける事ができます。
整形外科	上肢の先天異常と外傷後遺症	関敦仁(整形外科診療部長) 高木岳彦(整形外科診療部長)	上肢の先天異常や外傷後遺症に関する治療(治療法の選択・時期)について対応いたします。
	下肢の先天異常と外傷後遺症	江口佳孝(整形外科診療部長) 内川伸一(整形外科医長)	下肢の先天異常や外傷後遺症に関する治療(治療法の選択・時期)について対応いたします。
泌尿器科	小児泌尿器科全般	長谷川 雄一(泌尿器科診療部長)	停留精巣・陰嚢水腫・尿道下裂・膀胱尿管逆流症・水腎症(腎盂尿管移行部通過障害)尿管症(尿管膀胱移行部通過障害)などについて対応いたします。
	先天性難治性稀少泌尿生殖器疾患	長谷川 雄一(泌尿器科診療部長)	総排泄腔外反症・膀胱外反症・総排泄腔遺残症などの外科的手術について対応いたします。
	性分化疾患	長谷川 雄一(泌尿器科診療部長)	副腎皮質過形成・アンドロゲン不応症など小児内分泌疾患における女児外陰部腫形成などの外科的手術について対応いたします。

感覚器・形態外科部

耳鼻咽喉科	先天性の呼吸障害	守本倫子(耳鼻咽喉科診療部長) もしくは適任者	声帯麻痺、声門下狭窄、上気道狭窄に伴う呼吸障害などについて、これから必要な治療方法についてのご相談を受けます。
	先天性難聴	守本倫子(耳鼻咽喉科診療部長) もしくは適任者	お子様の難聴について原因や治療方法、今後の経過などについてご相談を受けます。
歯科	歯科矯正 (不正咬合)	馬場祥行(歯科診療部長)	不正咬合(歯並びやかみ合わせの異常)に対する矯正治療について、相談を受け付けます。
形成外科	巨舌症	金子剛(感覚器・形態外科統括部長) 彦坂信(形成外科医長)	巨舌症(特にBeckwith-Wiedemann症候群に伴うもの)について、治療の適否や手術方法などについてのご相談を受け付けます。
	小耳症	金子剛(感覚器・形成外科統括部長) 彦坂信(形成外科医長)	小耳症の手術方法や治療する時期などについてのご相談を受け付けます。
	出生前の口唇裂・口蓋裂	彦坂信(形成外科医長)	出生前に診断された口唇裂・口蓋裂について、治療方針や見込まれる経過などについてご説明します。

こころの診療部

こころの診療部	①身体表現性障害、適応障害など ②慢性疾患をもつお子様の発達支援や子育て、教育機関との連携でお困りのお子様とご家族	田中恭子(児童・思春期リエゾン診療科診療部長)	①腹痛、頭痛など器質性疾患がすでに除外されている心因性の身体症状で適応障害(不登校など)を呈しているお子様 ②発達支援、子育て支援、自立支援に関するご相談に応じます。
	発達障害	小枝達也(こころの診療部統括部長)	発達障害の診断と解説を行います。
	妊産婦の方のためのこころの薬についての相談外来 (妊産婦 精神疾患)	立花良之(乳幼児メンタルヘルス診療科 診療部長)	妊娠中・授乳中で精神科の薬の内服に不安を覚えていらっしゃる方のための相談に対応させていただきます。
	こころの病気で治療中の方のための妊娠相談外来 (妊産婦 精神疾患)	立花良之(乳幼児メンタルヘルス診療科 診療部長)	こころの病気で治療中の方で、妊娠することを迷われていたり、周りの方から反対され悩まれている方は少なくありません。そのような方のご相談に対応させていただきます。

手術・集中治療部

集中治療科	小児集中治療領域	西村奈穂(集中治療科診療部長)	小児で集中治療が必要な病態、疾患に対しセカンドオピニオンを希望されたご家族のご相談をお受けします。
		中川聡(集中治療科診療部長)	小児で集中治療が必要な病態、疾患に対しセカンドオピニオンを希望されたご家族のご相談をお受けします。

周産期・母性診療センター

母性内科	甲状腺・糖尿病合併妊娠	荒田尚子(母性内科診療部長)	バセドウ病は橋本病などの甲状腺疾患、1型糖尿病、2型糖尿病、そのほかの糖尿病をもたれた妊娠もしくは妊娠前のご相談をお受けいたします。妊娠前のご相談は、プレコンセプションケアセンターまでご連絡ください。 https://www.ncchd.go.jp/hospital/about/section/preconception/
	高血圧合併妊娠 産後高血圧 妊娠高血圧症候群の産後フォロー 腎疾患合併妊娠	三戸麻子(母性内科医師)	高血圧や腎臓疾患をお持ちの方の妊娠について、また妊娠高血圧症候群と診断された方の出産後のフォローアップ・産後高血圧といった妊娠関連高血圧に関するご相談をお受けいたします。
	膠原病合併妊娠	村島温子(主任副周産期・母性診療センター長) 金子佳代子(母性内科医師)	関節リウマチ、SLE(抗リン脂質抗体症候群を含む)、シェーグレン症候群(抗SS-A抗体のみを含む)などの膠原病を持たれた方の妊娠について、妊娠前、妊娠中の相談をお受けします。妊娠中のお薬の使い方についてのご相談ご希望の方は「妊娠と薬情報センター」03-5494-7845までご連絡ください。 https://www.ncchd.go.jp/kusuri/
	合併症妊娠	山口晃史(母性内科診療部長)	重症不育症を含む内科合併症妊娠の相談をお受けいたします。妊娠中だけでなく可能であれば妊娠する前にお会いし、患者さんの疾患に合わせた治療方法を考えます。
新生児	新生児疾患	伊藤裕司(副周産期・母性診療センター長 新生児科診療部長)	新生児期発症の疾患(NICUIに入院しての治療が必要な疾患)の診断や治療に関してのご相談を受け付けます。

臓器移植センター

移植外科	肝疾患・肝不全	笠原群生(臓器移植センター長) 阪本靖介(臓器移植センター副センター長、移植外科診療科部長) 福田晃也(移植外科診療科部長)	胆道閉鎖、代謝性肝疾患、劇症肝炎を対象にしています。
	肝移植・臓器移植(腎臓・小腸移植を含む)	笠原群生(臓器移植センター長) 阪本靖介(臓器移植センター副センター長、移植外科診療科部長) 福田晃也(移植外科診療科部長)	各種臓器移植後の合併症、免疫抑制剤管理の相談を受け付けます。

放射線診療部

放射線治療科	放射線治療	藤浩(放射線治療科診療部長)	小児がん、成人がんを問わず放射線治療の適応、効果、副作用に関する質問にお答えします。また陽子線治療など先進的治療の選択などについての相談も受け付けています。
--------	-------	----------------	--

病理診断部

病理診断科	病理診断外来	義岡 孝子(病理診断部統括部長) 羽賀 千都子(病理診断科医師)	小児・周産期疾患および小児腫瘍の病理診断を対象としています。 ご希望により、治療を担当する臨床科のセカンドオピニオン外来にて病理診断のセカンドオピニオンを申込みいただくことも可能です。
-------	--------	-------------------------------------	---

高度感染症診断部

高度感染症診断部	慢性活動性EBウイルス感染症(CAEBV)専門外来	石黒精(血液内科診療部長) 山田全毅(高度感染症診断部医師)	EBウイルスがT細胞やNK細胞に感染して起こる難治性疾患(悪性リンパ腫)で現在骨髄移植でしか根治しない、CAEBVなのかどうなのかを確定診断します。
----------	---------------------------	-----------------------------------	--

上記疾患以外でご相談の際はお問い合わせください。

2020年5月改訂版